

7月
July

ふれあいルーム便り

通所介護・地域密着型認知症対応型通所介護

医療法人社団芙蓉会 デイサービス ふれあいルーム 2022年7月15日 No.322

町田市花壇コンクール

～お花を育てる～

今年で100回目となる町田市の花壇コンクールに向けて、ふれあいルームも一人ひとりが自分でできる事を工夫して花壇を作りました。まだまだ小さな苗を丁寧に扱いながら植えました。

草や花に触れたり、鑑賞したりすることで、「エネルギーをもらえる」と感じる事があります。

園芸療法という言葉もあり、植物の様子を見たり、水やりをしたりすることで、自発的な活動の促進や、役割の再構築に直結することがあるのです。園芸を集団で行う活動は共通の話題になり、さまざまなコミュニケーションにもつながります。次回の利用日の楽しみにもなり、屋外に出て風や太陽の光を感じながら全身を動かす時間を持つことで、気分転換を図ることもできます。これからもみんなで大切に育てていきたいと思えます。



ハンドベル

ハンドベルの練習を始めて2か月が経ちました。最近は始めはゆっくり、段々曲のテンポを速くして練習しています。毎回1人が同じ1つの音を担当し、全員でタイミング良く鳴らします。上達している事を実感し、演奏が終わると喜びの声が上がります。秋には発表会も企画しています。目標に向けて楽しく練習していきましょう。





ふれあい飾り

毎月季節に合わせて利用者とふれあい飾りを制作しています。皆でお話ししながら作品を完成させるので、楽しみながら取り組むことができる時間です。指先のリハビリにもなりますが、体に負担はかからないため、高齢者でも楽しめます。カラフルな紙で作られた作品を飾ると施設内の雰囲気がより明るくなり、近くを通る度に眺める楽しみにもなります。

手作り金魚は風でくるくる回り泳いでいるみたいです



暑さに負けない元気の出る色で作成



七夕飾りで願い事も書きました

無理なくできる作業で達成感を感じます



ふれあい カイコを飼う その2

生活相談員 森 繭子

ふれあいルームのカイコ達、20頭から飼い始め現在13頭が繭作りしました。

日本の製糸工場はピーク時には1800社以上もありましたが、現在わずか7社しか操業していません。海外では中国、インドが盛んに繭作りはしているそうです。日本においては今から80年程前、大正、昭和初期の時代にはカイコの繭から得る生糸は外貨を得る為の重要な輸出品目でした。その為「お蚕様」と呼ばれ屋内養蚕で大切に育てられました。

ふれあいの利用者の中にも毎回利用時に観察して下さっている方もいます。そろそろ繭から出て蛾になる頃なので、会うのが楽しみです。



ふわふわの繭 第一号



繭になる時にお部屋を作ってあげます



ふよう病院

医療法人社団芙蓉会

ふれあいルーム

〒194-0005東京都町田市南町田3-43-1



042-788-3302



042-788-3303

FAX番号が変わりました

ご利用日の案内

月曜～土曜日、祝祭日

9:30～16:00

日曜日はお休みです